「いのち」と「暮らし」を守る。

ご あ い さ つ

新型コロナウイルス感染症の拡大をできるだけ早く収束させなければなりません。またその間も、感染防止対策を十分にとりながら、私たちの社会経済活動を持続できるようにしてゆくことが重要です。感染症の拡大により、生活や仕事に大きな影響を受けている多くの国民の皆さまの声に耳を傾け、国の政策に反映してまいります。

さらに、コロナ後の社会を展望し、新しい経済社会のカタチを創っていくことが必要だと考えています。地元・堺の未来も見据え、「いのちと暮らしを守る」希望あふれる日本を築くため、全力で取り組んでまいります。

北がわ一雄

衆議院議員
弁護士・税理士

北がわ一雄の
最新情報はこちら ▶

発行元　北がわ一雄会　堺事務所
〒590-0957 堺市堺区中之町西１丁１番 10 号 堀ビル２階　TEL：072-221-2706　FAX：072-221-3001

コロナワクチンの全国民分確保へ全力!

公明党は、他党に先駆けて党内にワクチン・治療薬開発推進プロジェクトチームを立ち上げ、全国民がワクチン接種を受けられるよう、対策を一貫してリード。

政府は予備費6,700億円余りを支出することを決定。全国民分のワクチン確保に取り組む方針を表明し、海外製薬会社と基本合意しました。ワクチンの接種費用は無償化します。

携帯電話といえば公明党

携帯料金の引き下げは、20 年前から公明党が一貫して進めてきた政策。今回、菅政権が携帯電話料金の引き下げを主要政策の一つとして掲げています。菅首相は「私が気付くはるか以前から、公明党が署名活動を行っていることに心から敬意を表したい」と述べています。

携帯料金引き下げなど公明の取り組み

1994 年	神崎武法郵政相（当時、公明党）が携帯電話の売り切り制を導入
2000 年	135 2 万人の「携帯電話料金引き下げ署名」を政府に提出
01 年	電気通信事業法の改正により携帯電話料金引き下げを推進
2003 年	1012万人の「番号ポータビリティー制度導入の署名」を政府に提出
06 年	番号ポータビリティー制度が実現
2010 年	「SIMロック解除を求める要望書」を政府に申し入れ
15 年	SIMロック解除の義務化を実現
2015 年	「料金プランの多様化を促す等の提言」を政府に申し入れ
16 年	大手3社が低料金プランを発表
2020 年	「携帯電話料金引き下げに向けた提言」を政府に提出

不妊治療の負担軽減が大きく前進!

公明党は、不妊治療の負担軽減に1998年から取り組み、2004 年度か　ら年1 回10 万円を限度に助成を行う「特定不妊治療助成事業」が創設され、その後も段階的に拡充してきました。菅首相は「公明党から不妊治療の助成金拡大や保険適用に強い要請を受け、できるだけ早く保険適用ができるようにしたい。それまでの間は、助成金を思い切って拡大したい」と明言しました。

北がわ一雄会規約（抜粋）

（名 称）本会は、北がわ一雄会と称し、主たる事務所を堺市に置く。
（目 的）本会は、北がわ一雄氏を後援することにより市政の発展と市民生活の向上をはかり、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とする。
（事 業）後援会、座談会等の開催。会報等の発刊及び配布。関係諸団体との連携。その他本会の目的達成のため必要な事業。
（会 員）本会の目的に賛同し、入会申込書を提出した者をもって会員とする。

「北がわ一雄会」入会申込書

貴会の趣旨に賛同し、後援会に申し込みます。

フリガナ お名前	年齢	入会申込日 H　年　月　日
ご住所　〒 お電話　（　　）		
紹介者名	紹介者電話番号 （　　）	

個人情報は適切に管理し、政治活動の目的以外には使用しません。

実績が示す「北がわ」の実現力!!

1 暮らしを支援

- **新型コロナウイルス対策**
  「一律1人10万円の現金給付」、「持続化給付金」の拡充、「雇用調整助成金」や「家賃支援給付金」など生活者の視点に立った政策をリードし実現しました。
- **年金・医療**
  加入が10年で年金が受給可となり、64万人を救済。パートの方にも厚生年金が受けられるようになりました。また、高額療養費の自己負担額を見直し、中・低所得者の負担の軽減に尽力しました。
- **高齢者・障がい者の住宅入居を安心に**
  改正住宅セーフティネット法を成立させ、高齢者や障がい者などへの賃貸住宅の供給を促進しました。

2 子育て・教育を支援

- 3～5歳児と0～2歳児（住民税非課税世帯）の無償化を実現しました。
- 妊産婦の支援を強化（妊婦健診、出産育児一時金）し、不妊治療費助成を拡充しました。
- 子どもの命を守る体育館・校舎を耐震化し、教室等にエアコンを設置しました。
- 大学などの高等教育の無償化を実現しました。

3 堺のまちづくりを支援

- 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録（2019年7月6日）を推進しました。
- 日本最大級の施設規模を誇るスポーツ施設「J-GREEN 堺」を誘致。来場者が延べ700万人になりました。
- 関空24時間化を推進し、国内最多の格安航空会社の就航を実現しました。
- 堺浜に基幹的広域防災拠点を誘致し、堺の防災機能を強化しました。
- 阪神高速大和川線を全線開通させたことで、和歌山、奈良、堺、神戸へのアクセスが向上し、さらに災害時の交通機能が強化されました。

未来をひらく「北がわ」ビジョン！
KITAGAWA VISION

人が輝き、若者の夢がかなうスマートシティを構築

加速する少子高齢化を克服し、AI、ICT、ビッグデータや5Gといった最先端技術を活用した「まるごと未来都市」の構築を推進し、生活しやすさ、働きやすさ、学びやすさが揃ったより良い暮らしの実現を図ります。

世界でもっとも安全で安心な国づくりを推進

防災減災に加えあらゆる感染症にも対応でき、治安面でも世界に誇れる安全で安心の国づくりを推進します。

中小企業の可能性を更に引き出し経済の推進力を強化

産業間連携を構築し、相乗効果を高め、中小企業が持つ潜在的な可能性を引き出します。

堺の歴史と文化を世界へ発信

地元・堺の歴史と文化を世界の宝として発信し、世界から訪れたくなるまちづくりを推進します。

子育て・教育環境のさらなる充実

働き方改革を推進し、一層子育てしやすく、子どもたちが笑顔で健やかに育つ教育をさらに充実します。